

### ◆基本構想とは

基本構想は、今後10年間にわたるまちづくりの基本方向と、目指すべき将来都市像を示し、分野ごとの基本政策を定めたものです。

### ◆10年後の将来都市像

「未来へつながる『交流拠点都市』もばら」としました。「未来へつながる」という言葉には、将来にわたり持続していく、未来を担う世代を育み歴史と伝統を伝えていく、市民や企業、行政などがつながり協力し合うという、いくつもの意味が込められています。そしてまち全体として、人や物が集い行き交う「交流拠点都市」となることを目指します。

### ◆将来の人口

日本全体の人口が減少していく中で、5年後の令和7年に8万7000人、10年後の令和12年に8万5000人、20年後の令和22年に8万人の人口を維持することを目指していきます。

### ◆基本計画とは

基本計画は基本構想を基に、前期の5年間に実施する行政の取り組み内容を、事業

分野ごとに整理しています。

### ◆3か年実施計画とは

実施計画は基本計画の実現を目指すものであり、今後3年間ににおける具体的な事業を明らかにし、行政運営の基本とするものです。

本計画の実施にあたっては、今後の社会情勢による行政需要の変化も考えられることから、毎年度見直しを行い弾力的な運用を図ります。

### ◆財政の見通し

基本計画および3か年実施計画の策定にあたり、歳入面では市税の減少が見込まれることから財源の充実・強化を図るとともに、歳出面では社会保障費の増加に対応するため、財政運営の効率化、行政改革の推進などに努め、事業の選択と集中により計画事業費を積算しました。

※各事業分野ごとに記載した

主要事業は、第1次3か年実施計画掲載事業から抜粋したものです。(太字は新規事業。1万円未満は四捨五入)

## 安全安心



しなやかで安心して住めるまち

● 防災・消防

● 道路

● 河川等

● 防犯

● 交通安全

● 消費生活

市民の生命、身体および財産を守るため、関係機関との協力により河川の改修・維持管理や内水対策などを推進するとともに、防災教育や地域における防災活動の核となる人材の育成に努め、自助・共助の取り組みを強化します。

また、犯罪のない明るく安全な地域社会づくりと、誰もが通行しやすい便利な交通環境づくりを目指します。

### ◆主要事業

● 道路改良事業

6億4125万円

● 河川改修事業

6億3753万円

● 内水対策関連事業

8億5527万円

## 都市環境



利便性と落ち着きが共存するまち

● 土地利用

● 市街地整備

● 総合交通体系

● 上水道

● 下水道等

● 公園・緑地

● 住宅環境

● 環境保全

自然豊かな環境と共生し、ゆとりと豊かさを実感できる生活空間を形成するため、計画的な市街地整備に努めます。

また、広域幹線道路による、物流・観光等への波及効果を最大限に生かすことができる道路網の整備に努め、利便性が高く持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を図ります。

### ◆主要事業

● 茂原駅前通り地区

土地区画整理事業

6億8962万円

● 都市計画道路整備事業

2億6089万円

● 市営住宅長寿命化事業

4億7315万円

## 協働推進



市民が主役の持続可能なまち

● 協働のまちづくり

● 人権・男女共同参画

● 適切な行政運営

● 行政改革と情報化

市民が積極的にまちづくりに参加できるよう、市政情報の発信・公開と、参加機会の提供に努めるとともに、地域コミュニティの活性化や市民活動団体等の育成を図ります。

また、あらゆる人々が活躍する社会の実現に向けて、すべての市民がそれぞれの個性や生き方等の違いを認め合い、尊重し合う差別的ない社会づくりを進めます。

### ◆主要事業

● コミュニティ活動支援事業

5010万円

● ふるさと茂原まちづくり

応援寄付推進事業

7404万円

● 新任期付職員(弁護士)

雇用事業

3125万円